

2024年度生産性向上支援訓練コース内容

主催：滋賀職業能力開発促進センター

コース番号	025	訓練分野	A.バックオフィス-新技術活用
コース名	RPA活用による定型業務の自動化		
正式な コース番号・ コース名	24-25-12-055-025 ※リーフレットには「コース番号」は左記の末尾3桁を記載しています。 RPAを活用した業務効率化・コスト削減 ※正式なコース名は、上記「コース名」と異なる場合のみ記載しています。「コース名」は受講者募集用に設定したものです。助成金の手続きの際には正式なコース名を記載してください。		
開催日時	2024/10/25 (金) 9:30~16:30 (昼休憩 12:30~13:30)		
会場	ポリテクセンター滋賀 (大津市)		
対象者	初任層・中堅層・管理者層 ●定型の事務処理を自動化したい方 ●コスト削減と併せて質の高い製品・サービスを提供したい方 ●先進的なRPA導入事例を知りたい方		
習得する スキル等	●RPAの技術概要や活用事例、活用検討に必要な知識 ●RPAを活用した自社業務の課題解決策立案に繋げることができる能力		
ポイント	RPAの導入により、従来の作業方法を一新し、自動化できます。高度な機能を実現する直感的操作の実演及び具体的な適用事例を通じて、業務にどのようにRPAを組み込めるかを探求します。更に、RPAと最先端テクノロジー（プロセスマイニング、生成AIなど）の融合で変わる未来の業務スタイルを体感できます。		
内容	1 業務を自動化するRPA(Robotic Process Automation) (1) RPAの概要 働き方改革の担い手「RPA」 ロボットソフトウェアを動かすフローとは (2) 基本操作 Microsoft製「PowerAutomateDesktop」無償化の衝撃 RPAの真骨頂であるループや分岐を実演 (3) 適用事例 Excel、Web画面の操作、処理後のファイル移動など 職務課題と自動化したい業務【グループ討議】 2 RPAを活用した業務効率化とコスト削減策の立案 (1) RPAの特長と注意点 アナログNG、アップデート頻出、人材育成が課題 費用対効果の測り方 (2) 適用検討 自分の仕事を棚卸【セルフワーク】 業務フローを描いて標準化する【セルフワーク】 (3) 今後の展望 プロセスマイニングやChatGPTなど生成AIとの協調 これからの業務のあり方【グループ討議】 (注) 講師がループや分岐を実演しますが、受講者がパソコン等を使用しての演習は行いません。		

実施機関	一般社団法人中部産業連盟		
定員	15名	受講料	3,300円(税込)
使用ソフトウェア	なし(パソコン演習なし)	実施機関・講師からのメッセージ	
持参品等	筆記用具	自動化ツールのRPAはChatGPTなど生成AIとも連携し、進化を加速させています。その活用法を事例を元にわかりやすく解説しますので、受講後はすぐに業務へ適用していただけます。	
備考			